

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ エグザイル		ワークス	UGN	エージェントC	カヴァー	
	オプション		年齢	18	性別	女	
覚醒	憤怒	衝動	加虐		初期侵食率	32	%
出自	複数の兄弟姉妹	経験	仲間の死		邂逅	家族 (任意)	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	5	0	0			5	行動値	3
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	3
精神	0	1	0			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:	2		情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	マス	消費
野獣本能	P	N			
私が殺してしまったあの子	P 執着	N 悔悟			
大事な兄弟達	P 慈愛	N 偏愛			
月波弥優	P 慈愛	N 悔悟			
壺井谷 要	P 好意	N 無関心			
十五月 白音	P 親近感	N 脅威			
椎名 蒼一	P 感服	N 隔意			
最大財産P:	6	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:エグザイル	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: いつもの								
エンタングル	1	2	メジャー	武器	-	対決(白兵)	-	
効果: このエフェクトを組み合わせた白兵攻撃で、対象に1点でもHPダメージを与えた場合、対象にバステ重圧を与える。1シーンLv回								
爪剣	5	3	メジャー	武器	単体	対決(白兵)	-	
効果: このエフェクトを組み合わせた攻撃の攻撃力を+ [Lv×2] する。また、このエフェクトに対するドッジの判定のダイスを-1個する。								
伸縮腕	3	2	メジャー	視界	-	対決(白兵)	-	
効果: このエフェクトを組み合わせた白兵攻撃の射程を視界に変更する。このエフェクトを組み合わせた判定のダイスを-[3-Lv]個する (最大0個)								
怒涛の大蛇	1	4	メジャー	視界	シーン(選択)	対決(白兵)	リミット	
効果: このエフェクトを組み合わせた白兵攻撃の対象をシーン(選択)に、射程を視界に変更する。1シナリオ1回								
進化の末脚	3	2	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果: 完全獣化の効果中のみ使用できる。そのラウンドの間、あなたの【行動値】を+[Lv×3]する。								
進化の大爪	3	2	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果: 完全獣化の効果中のみ使用できる。そのラウンドの間、あなたの白兵攻撃の攻撃力を+ [Lv×3] する。								
完全獣化	1	6	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: このシーンの間、【肉体】の能力値を使用したあらゆる判定のダイスを+ [Lv+2] 個する。ただし、このエフェクトが持続している間、素手を除くアイテムはすべて装備、使用不可となる。								
破壊の爪	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 素手データ変更 (攻撃力Lv+8、G値1、射程:至近)								
オールレンジ	1	2	メジャー	武器		対決(白兵)	-	
効果: このエフェクトを組み合わせた判定のダイスを+Lv個する。								
鋭敏感覚	★							
効果:								
獣の臭い	★							
効果:								
猫の瞳	★							
効果:								

彼女は、とある養護施設で育った。
記憶もない頃に親に捨てられ、拾ってくれたのがそこだった。
家族に、「みんなの絆を強く、紡いでくれますように」とこの名前をつけられた。
家族からは、みんなのことをやさしく見守ってくれる、名前通りの子だと評価されていた。周囲の反応も良かった。
そんなある日、彼女が15になる誕生日のことだった。
養護施設にある男が入ってきた。なにやら怪しい男で、職員さんが対応しにいった。
次の瞬間には、職員さんは死んでいた。そしてそのまま男は銃を振り回し、何人かの兄弟が死んだ。
彼女が覚えているのはそこまでで、次に覚えているのは、
壊れた「我が家」と泣きじゃくる「兄弟」、「血」にまみれた自分の手足。そして瓦礫に埋もれた「あの子」だった。
その直後に彼女はUGNに保護された。聞けば、施設の崩落も彼女が起こしたものだ。オーヴァードとして覚醒し、散々男を一方向的に叩きのめして、その勢いで施設も崩壊してしまっただけ。あの子は崩壊のときに巻き込まれて、そのまま助けるのも間に合わなかった、とのことだった。
次の日から彼女の環境は変わった。UGNに所属し、自分の力の制御の仕方を覚えた。戦闘班にスカウトもされたが、また暴走して誰かを殺してしまうと思うと怖くて、辞退した。
そして彼女は施設に戻った。今度はもう暴走しないように、あの子の分も誰かを守らうと。

・・・余談だが、男を殺したあの日あの時。
彼女は笑っていたそうだ。それも、とても楽しそうに。笑いながら、踊りながら、男を少しずつ、いたぶるように殺したらしい。

HO3
カヴァー:自由/ワークス:UGNエージェント
あなたはUGNの保護下の孤児保護施設の職員でありエージェントだ。